

## お知らせ

愛媛大学医学部附属病院では、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回お示しする以下の研究では、患者さんのカルテの記録を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方や、カルテ情報の利用をご了解頂けない方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

### 【研究課題名】

抗 EGFR 抗体製剤使用患者における低 Mg 血症の発現状況と低 Mg 血症発現リスク因子の調査

【研究機関】 愛媛大学医学部附属病院

【研究機関の長】 杉山隆（病院長）

【研究責任者】 田中 守（薬剤部長）

### 【研究目的・意義】

抗がん剤であるセツキシマブ（アービタックス®）、パニツムマブ（ベクティビックス®）を使用している患者さんでは血液中のマグネシウム（Mg）が低下すること（低 Mg 血症）があります。Mg が低下しすぎることによって副作用が出現したり、治療が継続できなくなる場合があります。

本研究では、上記の薬（抗 EGFR 抗体）を使用している患者さんを対象に低 Mg 血症の発現状況を調査し、低マグネシウム血症発現のリスク因子を検討することを目的としています。

### 【研究の方法】

（調査の対象となる患者さん）2019年4月から2027年3月までに、愛媛大学医学部附属病院においてセツキシマブ（アービタックス®）、パニツムマブ（ベクティビックス®）を投与された患者さんについて、電子カルテ（IBM）より以下の項目を調査します。

（調査する項目）性別、年齢、身長、体重、BMI、抗 EGFR 抗体の種類と投与量、がん種とステージ、併用されている抗がん剤とサイクル数、前治療歴、無増悪生存期間（PFS）、併用されている薬、白血球数、好中球数、血小板数、ヘモグロビン、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、 $\gamma$ -GTP、LDH、CK、BUN、Cr、eGFR、尿酸、Na、K、Ca、Cl、Mg など

**【個人情報の取り扱い】**

収集した情報は名前、住所など患者さんを直接特定できる個人情報を削除します。そのため個人を特定できるような情報が外に漏れることはありません。また、研究結果は学術雑誌や学会等で発表される予定ですが、発表内容に個人を特定できる情報は一切含まれません。

< 試料・情報の管理責任者 >

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 濟川聡美

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。他の患者さんの個人情報の保護、および、知的財産の保護等に支障がない範囲でお答えいたします。

**【お問い合わせ先】**

愛媛大学医学部附属病院薬剤部 飛鷹範明

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5731